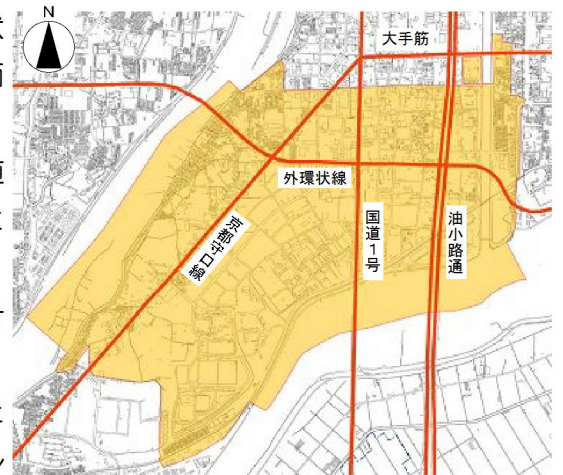


(1) 地域の概要

横大路地域は伏見区南西部に位置し、概ね、北は外環状線、南東は宇治川、南は淀競馬場、東は東高瀬川付近、西は桂川に囲まれた面積約 383.9ha の地区です。

地域の中央部には幹線道路である府道京都守口線、国道 1 号、油小路通が南北に走っており、京都の南の玄関口とも言える地域です。

この地域の再生（ルネッサンス）を目指すまちづくり計画として、平成 19 年 3 月に「伏見ルネッサンスプラン」を策定しました。今後は、20 年後、30 年後を展望した取組を、地域住民と地域に立地する企業、京都市が協働して進めていきます。



(2) 地域の将来像

① まちづくりの理念・基本的な考え方

“輝かしい歴史を受け継ぎ 21 世紀を切り開く、水と緑に富んだ人に優しい環境共生のまち 横大路”

京都の南の玄関口として、また淀川水運や魚市場をはじめとする物流の拠点として京都市民の生活を支えてきた横大路地域の歴史を受け継ぎ、水と緑に恵まれた地域環境のなかで、人に優しく誇りある豊かな地域生活を送ることに加え、21 世紀の主要課題である環境問題を切り開く活動が行われる環境共生のまちづくりを目指します。

② 地域の目標・将来像

○ 公害のない安心・安全なまちづくり

- ・ 地域に集積する廃棄物処理施設や幹線道路の車両などを原因とする各種公害を防止するとともに、環境関連施設が過度に集積しないよう適切な立地誘導等を行います。
- ・ また、交通事故や防犯、防災などへの対策を充実し、安全で安心して地域生活を送ることができる地域づくりを目指します。

○ 快適で利便性の高い生活環境づくり

- ・ 土地区画整理事業による新たな住宅や産業施設の立地環境が整う中、若者から高齢者まで、また、居住者から地域で働く人までが暮らしやすい、公共交通が充実し、商業・医療・コミュニティ施設などが充実した利便性の高い生活環境をつくり上げます。
- ・ また、教育環境の充実、農・工業などの産業施設と調和した生活環境を目指します。

○ 水と緑豊かな自然と文化的環境を生かしたまちづくり

- ・ 桂川の水辺環境や水田の緑、水路環境、地域の社寺林や企業林など自然環境資源を生かし、また輝かしい歴史資源など文化的環境を活用したまちづくりを目指します。

○ 世界に誇れる先進的地域づくり

- ・ 幹線道路などが集まる京都の南の玄関口として、京都の文化と経済を担う企業、環境問題などに対し、先進的取組を行う企業の集積を目指し、世界に誇れる地域への脱皮を図ります。
- ・ また、千両松地域にある既存の環境関連施設の集積地区についても、先進モデルとなるよう施設の高度化や環境美化を図り、「環境共生と低炭素のまち・京都」の一翼を担う地区として位置付け直すとともに、環境教育のメッカとなるような整備を行い、全国・世界に発信する環境先進地区として発展させることを目指します。

(3) 地域のまちづくりの方針

○ 歴史・文教・住居地区（おおむね府道京都守口線の西側）

ア 快適で安心・安全な居住環境の整備

- ・ 住居系の土地利用を促進する快適な居住環境整備
- ・ 土地区画整理事業による都市計画道路の整備にとともに、公共交通を充実・整備するなど高齢者にとっても利便性の高い、安心・安全なまちづくりの推進

イ 歴史的環境を生かしたまちづくりの推進

- ・ 歴史的環境の保全や復元
- ・ 「歴史街道」や草津湊の顕彰など地域環境づくりの取組の検討

ウ 地域コミュニティ活動の強化

- ・ 新旧住民の融和を進め、地域住民による地域コミュニティ活動の強化

○ 産業地区（おおむね府道京都守口線の東側）

ア 先進的産業ゾーンの形成

- ・ 京都の玄関口に相応しい緑豊かな工業地域の形成

イ 住工共存のまちづくり

- ・ 地区計画等による工業立地に配慮した住環境の形成
- ・ 住生活と共存する工業ゾーンへの転換

○ 産業・環境教育地区（宇治川沿岸地域）

ア 環境関連施設の改善、高度化と環境教育のメッカの形成

- ・ 様々な環境関連施設の改善、高度化
- ・ 環境共生と低炭素のまち・京都のシンボルゾーンとしての役割を果たす地区となるような整備の推進

イ 地区の総合的整備と施設の相互連携による先端的環境・防災研究ゾーンとしての発信

- ・ 官民の環境関連施設との機能連携による、先端的環境・防災研究ゾーンとしての世界への発信

ウ 市民に開かれた空間づくり

- ・ 開かれた地区づくりと気軽に来訪できる空間づくり

